

■起業家甲子園出場者の基本的な選抜基準

連携イベントにおいて「NICT賞（起業家甲子園挑戦権）」を付与するに当たっての基本方針（＝起業家甲子園出場者の基本的な選抜基準）は、以下のとおり。

1 選抜の対象

- ① 高校生、高専生、大学生、大学院生等の学生や学生で構成されるチーム。
なお、起業の有無は問わない。
- ② 地区（連携）大会への参加は各地区に縁のある学生、学生で構成されるチームであること。
- ③ これまでに「起業家甲子園」への出場経験のある学生や学生で構成されるチームの応募は認めない。
- ④ ICTを活用したビジネスプランを前提とする。
※発表時点で最低限でもプロトタイプレベルの実装済みであることが望ましい。

2 審査（選抜）の視点

NICT ICTメンタープラットフォーム メンター（又は事務局）が連携イベントに出場する学生の中から、起業家甲子園への出場を前提として、以下のNICT独自の視点で審査を行い、「NICT賞（起業家甲子園挑戦権）」を付与する。

<NICT独自の視点(基本的選抜ポイント)>

【大前提】自分のアイデアを形にして世の中に広めていきたい、自分の技術を活用して世の中に広めていきたい

- ① 経営者が人として魅力的か、意志力・伸びしろはあるか
- ② 魅力的な事業領域か（市場の規模は大きいのか、成長が期待できるか）
- ③ 勝てる戦略か（独自技術・アイデアがあるか、事業計画に実現可能性があるか）
- ④ サービスや技術としてキラリと光る価値があるかどうか※

※「キラリと光る価値」とは、例えば「ポストコロナ社会への変化を踏まえたサービスや技術（既存産業のDX等）」などをイメージ。